

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス デフキッズ

公表日 2025年2月28日

利用児童数 25名(23世帯)

回収数 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3	0	1	・利用者が多い日は少しきゅうくつに感じる。活動内容によって別の場所を借りる対応をしてくれてありがたい	平日での利用人数においては妥当なスペースだが、長期休暇や参加人数が多い時は公共の施設を活用している。(主に伊敷公民館、城西公民館、ハートピアかごしま)
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	4	月・金曜日にもう少し先生がいたらいいな~と思います。	職員配置は法令基準を満たしており、利用者の状況に応じて適切に配置している。必要に応じて増員し、安全で充実した支援が提供できるよう努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	0	0		階段について建築構造上の理由により、改修が難しい状況。現在は滑り止めの設置とスロープの整備を行っている。送迎時については、保護者からのご連絡を受けたうえで、スタッフが階段を下りて児童を迎えに行く。お子様が階段を利用する際には、スタッフが前後に付き添い、安全に昇降できるようサポートする。必要に応じて、手を繋ぐ、または抱えて階段を上などの対応も行っている。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3	0	0	ライブラリー室でお気に入りの本を読 んで色々と情報を得ている	日々の清掃を徹底し、常に清潔で快適な 環境を保つよう努めている。また、こど も達が安心して過ごせるよう、活動内容 に応じた空間のレイアウトの変更や設備 の工夫を行っている。必要に応じて環境 の改善を進め、より良い支援ができるよ う配慮していく。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	21	1	0	1		職員は定期的に研修を受け、こども一人 ひとりの特性を理解し、それぞれに適し た支援を行うよう努めている。また、個 別支援計画を作成し、保護者と連携を取 りながら支援内容を見直し、最適な対応 を提供している。子ども達が安心して成 長できるよう、専門的な視点を持った支 援を心かけている。さらに、来年度の新 体制として、スーパーアドバイザーが2 名加わることになり、より専門的で充実 した支援が提供できる体制を整え、こど も達の発達や個別のニーズに対応できる よう強化していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	21	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	23	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	20	1	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0	季節ごとの行事やイベントなど、いつも楽しい企画で充実していると思う。	毎月DKトークと遊日（あそび）を行っており、調理、工作、手話など毎回違った活動プログラムを行っている。長期休暇では、子ども達が毎日楽しんで来所できるよう、毎回異なる企画を用意している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1	10	・大人との交流はありますが、子どもは難しいのかもしれませんが、手話に興味がある子も意外といつかもありません。（坂元小にも手話クラブがあるようです）	昨年は地域のイベントとして 地域保育園での手話指導 や 条例制定記念イベントにも参加した。地域のこどもたちとの交流については、公園で一緒に遊ぶ機会もある。今後もこうした機会を大切にしながら交流を進めていくとともに、ろう児同士の交流も重視している。また、デフキッズを訪れる外国のろう者やろう児との交流の機会も積極的に設け、子どもたちが多様な手話環境に触れられるよう支援している。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	0	0	1	地域の学校だと難聴や聾についてのお話を聞く機会がないので、講演会を企画してくれたり、各機関のネットやZoom配信等、情報提供をして下さり、ありがたい。	今後も情報提供をしていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1	0	2		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4	0	1		中高生の場合、自分で来所されるため、保護者との連携が薄くなる。メールやテレビ電話、面談を通して共有できるよう努力する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	1	0	1	公民館でのイベントは聞こえるきょうだい児も参加でき、楽しんでいた。覚えた手話でコミュニケーションできた事を喜んでいた。また手話通訳者もいたので、手話が分からなくても楽しく過ごしていたようでした。	今後も同様な企画を計画していきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	0	2		年に一回以上、避難訓練を実施している。今後も、緊急時に適切な対応ができるよう、継続的に防災訓練を実施していく。

常時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	2	お子様の安全を確保するための計画を策定し、万が一の事態にも迅速に対応できるよう体制を整えている。職員全員が緊急時の対応手順を理解し、避難誘導や安全確保の方法について定期的に訓練を行っている。施設内の安全点検も定期的を実施し、事故や危険を未然に防ぐための環境整備を進めている。ご家庭と連携してお子様の安全を守る体制を構築している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	0	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	0	1	0	保護者の皆様と連携しながら、より良い支援環境を整えていくとともに、お子様の健やかな成長を支えるため、一人ひとりに合った、適切な支援を提供していきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	0	・中学生になり、たまにしか通所でできないが、友達に会ったり、企画を楽しんでいる。 ・行事のみの参加だが。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0	